

1 食育推進体制の整備

食育推進課題	<p>管内の高齢化率は丹波篠山市36.3%、丹波市36.0%と、県平均29.2%より高く、(R4.2.1現在)地域において、高齢期には各市で実施されている介護予防事業が栄養・運動・社会参加の面から展開されている。</p> <p>フレイル予防は、高齢者自身や関係者が始めるというイメージにとどまらず、壮年期から知識を得て、自身の近い将来また、周りの方の健康に寄与することが大切であり、事業所従業員も高齢化が進み、壮年期からのメタボ予防からフレイル予防が必要となることの認識を得ておく必要がある。</p> <p>そのため、高齢期に入る前段階(壮年期)から、低栄養についての知識を早期に習得し、理解を深めることが必要であり、丹波では、従来より事業所に対する取組を続けてきた経緯もあり、1日の殆どの時間を過ごす事業所に向けた取組みの実施することにした。</p>
今年度の推進方策	職場における従業員の健康に配慮するため、壮年期から高齢期にむけて、生活習慣病の発症・重症化予防からフレイル予防に向けた知識の習得。
成果	<p>今回の事業では、多くの方が講演前にはフレイルについて言葉も意味も知らなかったが、講演終了後には理解することができ、自身の食事や生活習慣を振り返るきっかけづくりができた。</p> <p>フレイルに陥ってからでは改善が難しいこともあり、早期から今回のような取組みを行うことで、知識不足によるフレイルを防げることができると考えられる。</p>
今後の方向性	・今回のような講演会を継続的に行っていく。

2 会議の開催状況

実施日時	令和4年10月5日(月)10:00～10:30
参集者 (団体数及び人数)	住友ゴム株式会社 ダンロップ市島工場 総務課2名
協議内容	健やか食育プロジェクト事業実践活動に向け、事業所内の健康課題と取組みについて
今後の方策	数年にわたり、貴社に対して野菜摂取増に関するアプローチを続けてきたが、近年は高齢者に対するフレイル対策が重要視されている。

	そこで、1日の多くを過ごす職場において、高齢期前の従業員に対し、フレイル予防に対する知識を得ることを目的に実践事業を実施する方向で決定し、講習会とアンケートを行うことので了承を得た。
--	---

※会議の議事録、参集者名簿を添付すること。

3 食育実践活動の結果

テーマ	フレイル		
対象及び参加者数	住友ゴム株式会社従業員（参加者22名）		
事業内容	日時・場所	内 容	講師・運営スタッフ
	令和5年 3月8日(水) 15時半～16時半 住友ゴム株式会社 市島工場	「～大切なあなたの体を維持するために～ 中年期から知っておこう！フレイル予防」 「オーラルフレイルについて」 「アンケート」	丹波健康福祉事務所健康管理課 兵庫県保健医療部健康増進課 歯科衛生士
成果	【成果】 ・講演開始前にはフレイルについて「言葉も意味も知らない」が7割近くいたが、講演終了後は「よく理解できた」「まあまあ理解できた」で9割以上になり、フレイルについての理解が深まった。 ・質疑応答では、歯科の内容についての質問が多く、歯科について興味を示された方がおり、考えるきっかけ作りになった。		
今後の課題	・1週間に摂取した食品が3項目以下の方が約5割であり、バランスの良い食事について意識していない方が多いことが分かった。今回のような事業を継続的に行うことが必要である。		

※プログラムや内容が分かる資料を抜粋し添付すること。